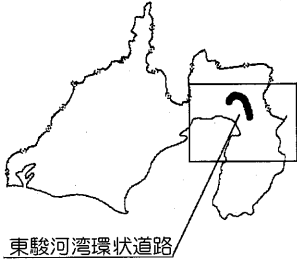
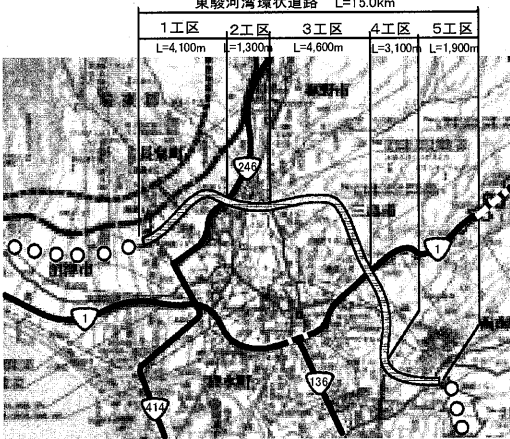


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道1号 伊豆縦貫自動車道 東駿河湾環状道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局																				
起終点	自：静岡県沼津市岡宮 至：静岡県田方郡函南町平井	延長	15.0km																						
事業概要 東駿河湾環状道路は、高規格幹線道路「伊豆縦貫自動車道」の一部を構成し、この道路の整備により、伊豆地域へ流入する観光・物流などの広域交通と都市圏内交通における生活交通の混在を適切な交通分担を行うことで分離し、渋滞を緩和することを目的とした事業である。																									
S63年度事業化	S62年度都市計画決定 (H一年度変更)	H元年度用地着手	H7年度工事着手																						
全体事業費	約1900億円	事業進捗率	約59%	供用済延長	—km																				
計画交通量	49,400台/日																								
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.3 (残事業) 7.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 624/1990 億円 (事業費：578/1948億円) 維持管理費：46/46億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 4670/4670 億円 (走行時間短縮便益：4176/4176億円) 走行費用減少便益：321/321億円 交通事故減少便益：177/177億円	基準年 平成15年																					
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（沼津・三島都市圏にて現道等の渋滞損失削減率55%が見込まれる） ・良好な環境の保全・形成（CO2排出量84千t-CO2/年の削減が見込まれる） 他5項目に該当																									
関係する地方公共団体等の意見 東駿河湾環状道路は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を期待されており、沼津市をはじめとする関係3市3町の首長で構成される東駿河湾環状道路整備促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。																									
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・都市圏内の交通量は増加傾向であり、主要幹線道路の混雑度も1.6以上と依然高い傾向																									
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・岡宮IC～塚原IC（1～3工区）で橋梁等を中心に全面展開中																									
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成19年度、暫定開通予定（岡宮IC～大場IC）																									
施設の構造や工法の変更等 ・縦断線形の見直し等により、約100億円のコスト縮減を予定。																									
対応方針	事業継続																								
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。																								
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;">  <p>東駿河湾環状道路</p> </div> <div style="flex-grow: 1;"> <p style="text-align: center;">東駿河湾環状道路 L=15.0km</p> <table border="1" style="margin: 0 auto; text-align: center;"> <tr> <td>1工区</td> <td>2工区</td> <td>3工区</td> <td>4工区</td> <td>5工区</td> </tr> <tr> <td>L=4,100m</td> <td>L=1,300m</td> <td>L=4,600m</td> <td>L=3,100m</td> <td>L=1,900m</td> </tr> </table>  <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td></td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査中</td> </tr> </table> </div> </div> </div>					1工区	2工区	3工区	4工区	5工区	L=4,100m	L=1,300m	L=4,600m	L=3,100m	L=1,900m	凡 例			供用中		事業中		再評価箇所		調査中
1工区	2工区	3工区	4工区	5工区																					
L=4,100m	L=1,300m	L=4,600m	L=3,100m	L=1,900m																					
凡 例																									
	供用中																								
	事業中																								
	再評価箇所																								
	調査中																								

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。